

種子処理機ゲペット(GEPETTO™ LXG-150)取扱説明書

目次

1. はじめに	… P1
2. 安全上の注意事項	… P1
3. 設置に関する注意事項	… P2
4. 運搬に関する確認事項	… P3
5. 製品仕様と概要	… P3
6. 各部位の名称と同梱物	… P4
7. 組み立てと設置	… P5
8. 操作方法	… P5
9. 清掃・メンテナンス方法	… P7
10. 製品保証について	… P8
11. 故障時の対応	… P8
12. よくあるお問い合わせ	… P9
13. 製品に関するお問い合わせ	… P9

1. はじめに

この取扱説明書は、種子処理機ゲペット(GEPETTO™ LXG-150、以下ゲペット)の基本的な使い方と、安全に使うための大切な情報をまとめたものです。安全かつ正しくお使いいただくために、必ずこの取り扱い説明書を最後までお読みください。

2. 安全上の注意事項

2-1. ご使用前の確認事項

- 本製品を安全に正しくお使いいただくために、以下の注意事項を必ずお守りください。
- ここに記載されている注意事項や、機械に貼付されている安全表示ラベルは、人身事故や機械の損傷の危険性がある重要な項目です。これらを守らない場合、死亡、重傷、または物的損害を引き起こす可能性があります。

2-2. 安全表示について

本取扱説明書では、特に重要と考えられる取り扱い上の注意事項について、以下の記号を用いて表示しています。

-  **危険**：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性があります。
-  **重要**：この表示を無視して誤った取り扱いをすると、重傷または軽傷を負う可能性や機械の故障な

どの物的損害が発生する可能性があります。

2-3. 作業前の確認:

- 機械の各部や電源コードに損傷がないか、接続部に緩みがないか、作業前に点検してください。
- 異常を発見した場合は、直ちに使用を中止し、販売店にご連絡ください。

2-4. 体調管理:

- 過労、病気、薬物の影響、飲酒、睡眠不足などにより、作業に集中できない場合は、本製品を操作しないでください。
- 取扱説明書の内容が理解できない方、視力不足のため表示内容が読めない方、18歳未満の方は本製品を操作しないでください。

2-5. 適切な服装と保護具の着用:

- 作業時は、必ず適切な個人用保護具を着用してください。これには、農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン、長袖の作業衣などが含まれます。
- 回転部に巻き込まれる可能性があるため、はち巻き、首巻き、腰タオルなどの衣類、またはアクセサリー類は着用しないでください。
- 農薬の液剤、粉剤に触れたり吸い込んだりすると、健康を損なう恐れがあります。作業後は、石鹸で手や顔をよく洗い、うがいをしてください。

2-6. 機械の改造・修理の禁止:

- 本製品の改造や指定品以外のパーツの装着は行わないでください。
- 本製品の修理は、指定された修理業者のみが行うことができます。
- 修理業者以外による機器の改造、配線の変更や部品交換は固く禁じます。
- 無許可の修理や改造、付属品以外の使用は、製品の故障につながり、保証の対象外となります。

3. 設置に関する注意事項

3-1. 設置場所の選定:

- 本製品は、勾配のない水平で安定した場所に設置してください。
- 傾斜があると、種子処理効果への影響や機械が転倒する危険があります。
- 直射日光や強風、雨水が直接当たる場所、粉塵の多い場所での使用は避けてください。
- 小児やペットが近づかないよう配慮した場所に設置してください。

3-2. 電源の接続:

- 電源は、必ず AC100V 50/60Hz の専用コンセントから直接接続してください。
- テーブルタップ等での複数接続(タコ足配線)は行わないでください。

- プラグはコンセントにしっかりと差し込み、接触不良がないことを確認してください。

3-3. 水濡れ注意:

- モーター部やインバーターなど電気部品、電源コードには水をかけないでください。
- 濡れた手で電気部品や操作パネルに触れないでください。

4. 運搬に関する確認事項

- 本製品の納品時に損傷がないか確認し、損傷がある場合は速やかに販売店にご連絡ください。
- トラックなどに積載して移動する場合は、十分な強度のあるロープで機械を確実に固定した上で運搬してください。
- 本製品を運搬する際は、キャスターがついている側から本体を少し傾けて、キャスターを活用しながら運搬してください。本体を傾けすぎると転倒し、重大なケガや故障に繋がりますので注意してください。

5. 製品仕様と概要



	簡単な操作性 簡易操作で種子処理が可能
	均一な塗布性 スプレーノズルによる均一な種子塗布
	優れた時間効率 約120kgの種子処理が60~90秒で完了
	多様な作物に対応 大豆・小豆・コーン・水稲・小麦など多様な作物に対応

対応作物種子	モデル	サイズ	重量	電圧	種子処理重/回	機能
大豆・小豆・とうもろこし・水稲・小麦など	LXG-150	76×76×110cm	60kg	単相100V	10-120kg	速度可変

6. 各部位の名称と同梱物



同梱物



- 保護具(グローブ・マスク・保護服・ゴーグル)
- 計量カップ
- 電源プラグ
- 吊り上げロープ

7. 組み立てと設置

7-1. 内容物の確認

- 製品及び同梱物に損傷、錆、打痕、使用痕などがいないか確認してください。

7-2. 各部の組み立て

トップカバーの取り付け:

- ホッパーの上部に正しく取り付けます。
- トップカバーをフックでしっかりと固定してください。

重要 トップカバーが正しく取り付けられていないと、安全装置が作動せず、機械が動作しません。

7-3. 安全装置コネクターの接続:

- トップカバーに付属している安全装置コネクターを接続してください。
- 配線の正負は区別する必要はありません。

重要 安全装置コネクターが正しく接続されていない場合、機械が作動しません。

7-4. 電源の接続

- 電源プラグの接続: 電源プラグを本体と単相 100V のコンセントに差し込んでください。
- アース接続: 感電防止のためアース（接地）を行ってください。アース線は、ガス管や水道管、電話線、避雷針などには接続しないでください。
- 電源プラグの差し込み後、電源が入ったことを確認してください。

重要 電源が入らない場合、変圧器のスイッチがオフになっていないか確認してください。

重要 発火などの危険があるためテーブルタップ等での複数接続(タコ足配線)は行わないでください。また、必要な電力を供給できず適切に動作しない可能性があります。

8. 操作方法

8-1. 作業前の準備

ホッパー内部の清掃

- ホッパー内部に異物が入っていないことを確認してください。

種子処理資材の準備

- 農薬のラベルを遵守し、適切な種子処理資材を準備してください。

種子の投入

- トップカバーを開け、機械が作動していないことを確認してホッパー内部に種子を投入してください。
- 種子の投入が完了したら、トップカバーをしっかりと閉じてください。

8-2. 起動と攪拌

機械の起動と速度調整

- 操作パネルの「RUN」ボタンを押して機械を起動します。
- 種子への損傷を避けるため、ゆっくりと速度を上げて調整することをお勧めします。
- ブレードが回転を開始したら、速度調整ノブを回して適切な回転速度に調整してください。

種子処理液の投入

- ブレードの攪拌速度が安定したら、トップカバー上部の資材投入口から種子処理液をゆっくり投入してください。種子処理液は、混合効果を高めるため、ゆっくりと投入してください。

処理中の確認

- 処理中は、トップカバー上部の観察窓から種子の状態を確認してください。

重要 種子処理中にトップカバーを開けないでください。カバーを開けると機械が停止します。処理を継続する必要がある場合は、カバーを閉じて再度「RUN」ボタンを押してください。

処理時間の目安

- 全体の種子処理時間は、通常 60 秒から 90 秒を推奨します。
(資材投入 30~60 秒 + 投入完了後の攪拌 10~30 秒)
- 処理時間は、種子の種類、処理液の量、攪拌速度によって異なります。攪拌時間が長すぎる場合、種子の割れや薬剤の剥げが起るため観察窓で様子を見ながら攪拌してください。

電圧インジケータと操作パネル:

- 電圧が 200V~240V の範囲で安定していることを確認してください。(入力電源は単相 100V、変圧器を通した後の動作電圧 (パネル表示) は 200-240V)。電圧が範囲外の場合は、変圧器を確認してください。

8-3. 処理後の作業

種子の排出

- 種子が均一に種子処理されたことを確認したら、操作パネルの「STOP」ボタンを押して攪拌を停止します。
- 種子排出ゲートを開け、処理済みの種子を排出してください。
- 必要に応じて、最も低い速度で排出することをお勧めします。

危険 種子排出ゲートに絶対に手や指を入れないでください。これらを守らない場合、重傷および機械の損害を引き起こす可能性があります。

攪拌完了後は速やかに種子を吐出してください。種子処理後に時間を置くと、本体(ホッパー)内で種子が側

面に固まり、吐出しにくくなる場合があります

電源オフ

- 全ての種子の排出が完了したら、トップカバーを開けて機械を停止させください。
- 使用しない場合は、トップカバーを閉じ、電源プラグを抜いてください。

9. 清掃・メンテナンス方法

9-1. 使用後の清掃:

- 使用後は、トップカバーを取り外し、ホッパー内部やブレードに付着した種子処理液や種子処理剤の残留物を速やかに清掃してください。
- メンテナンス作業を行う際は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。通電状態での作業は、感電や重傷、機械の損傷、原因となります。
- 清掃の際は、同梱のマスク、グローブ、ゴーグル、保護服などを着用してください。
- 濡らした紙や布で種子処理資材の残渣を拭きとってください。
- ブレード部を拭くときは指を切らないように注意してください。
- 電源プラグを抜き、本体が稼働していないことを確認し、布などを用いてホッパー内部やブレードを清掃してください。
- 残留物を放置すると、機械の腐食や処理効果の低下の原因となります。

 **危険** ホッパー内部やブレードに直接水をかけないでください。モーターや電気系統など故障に繋がります。

9-2. 定期的な点検

ホッパー内部:

- ホッパーの底部が清潔であることを確認してください。
- ホッパー内部を乾燥させ、種子に砂などの固形物が混入していないことを確認してください。
- ブレード部に割れや欠けがないか確認してください。

 **危険** 操作パネル濡れた手で触れないようにし、常に乾燥した状態を保ってください。動作しない場合は、配線接続を確認してください。

保管場所:

- 長期間（数ヶ月以上）使用しない場合は、機械を湿気、水、導電性粉塵のない、乾燥した換気のよい場所に保管してください。直射日光の当たる場所は避けてください。

部品の保護:

- モーターや配線が湿気や埃から保護されていることを確認してください。

再使用前の空運転:

- 長期間保管後に初めて使用する際は、電源を入れて 5 分程度空運転を行い、内部の電気部品やモーターを安定させてください。

10. 製品保証について

10-1. 保証期間

- 本製品の保証期間は、製品の納品日から 1 年間です。この期間内に取扱説明書に従った正常な使用状態で発生した製品の欠陥については、無償で修理または交換いたします。

10-2. 保証の対象外となるケース

以下のいずれかに該当する場合、製品の故障は保証の対象外となります。

不適切な使用・改造:

- 取扱説明書に記載された使用目的以外での使用、または無許可での改造を行った場合。
- 当社が承認していない付属品や部品を使用した場合。

取扱説明書に従わない操作:

- 本取扱説明書に記載されている安全注意事項や操作手順に従わなかったことにより発生した故障や損傷。

10-3. 補修部品の供給について

- 製品の保証期間内（納品日から 1 年間）に交換部品が必要となった場合、交換可能な交換部品を供給いたします(無償)。
- 保証期間終了後、3 年間は交換部品が必要となった場合、交換部品を供給いたします(有償)。
- 全ての部品の交換、供給はできません。交換できる部品については、販売店までお問い合わせください。
- 補修部品の納期については指定できません。お時間をいただく場合がございます。

11. 故障時の対応

異音や異臭などの異常を発見した場合は、直ちに機械の運転を停止し、必ず販売店にご連絡いただき、修理または交換を依頼してください。

修理・交換に関するお問い合わせ

製品の修理・不具合・交換に関するお問い合わせは、下記の情報をご確認いただき、販売店までお問い合わせください。シリアルナンバーは製品本体の背面に記載ございます。

項目	記入欄
製品名	種子処理機ゲベット LXG-150
シリアルナンバー	
販売店名	
お客様名	
住所	
電話番号	

12. よくあるお問い合わせ

Q1. 電源プラグを差し込んだが電源が入らない。

A1. ・まずは、電源プラグが正しく接続されているかご確認ください。

・変圧器(本体下部に取り付けられている青色機器)のスイッチがオフになっていないかご確認ください。

Q2. 電源が入っていることは確認できたが、スタートボタン(RUN)を押しても動かない。

A2. ・トップカバーが正しく装着されているかご確認ください。トップカバーが正しく装着されていない場合、安全装置が機能するため作動しません。

・安全装置コネクタの接続をご確認ください。電源プラグをコンセントから抜き、安全装置コネクタから4本のコネクタケーブルを外してください。再度4本のコネクタケーブルを安全装置コネクタに正しく接続してください。配線の正負は区別する必要はありません。

・テーブルタップ等での複数接続(タコ足配線)を行っていないかご確認ください。タコ足配線の場合、適切な電力供給が行われず、作動しない場合があります。

Q3. 種子処理作業の完了後、本体(ホッパー)の内部を水洗いすることは可能か。

A3. 本体(ホッパー)の外部、内部に直接水をかけて清掃しないでください。インバーター等に水がかかると感電や故障に繋がります。種子処理作業完了後は、本体(ホッパー)を濡らした紙や布で清掃してください。

13. 製品に関するお問い合わせ

製品に関するお問い合わせは、ご購入の販売店または下記までお問い合わせください。

シンジェンタジャパン株式会社 事業開発部

住所: 〒104-6021 東京都中央区晴海 1-8-10 オフィスタワーX 21 階

E-mail: campaign.jp@syngenta.com